

Rotary KashiwaNishi Rotary Club



四つのテスト

- 1、 真実かどうか？
- 2、 みんなに公平か？
- 3、 好意と友情を深めるか？
- 4、 みんなのためになるか？



Kashiwa Nishi Rotary club ARCHIVE (柏西ロータリークラブ アーカイブ)
柏西 RC の歴史的重要な資料を収集、保存したものをデジタル化し、インターネット上で公開する新しい取り組みです

柏西ロータリークラブ会報 第2166号

第2199回 通常例会

2022年7月14日 金曜日

12:30~13:30

会長報告 会長 塚本 英夫



先週はとんでもない事件が起きました。ニュースを見ると予定を変更して奈良に行ったということなので、運命ですね。テレビで見るとぞっとする映像で、後ろを見ている警察官が居なかったですね。警察庁の責任は重いと思う。日本のリーダー的存在だったので、諸外国との関係に影響があると言う政治評論家もいました。「種をいっぱい巻いているので、そのうちに芽吹くでしょう」と昭恵夫人がコメントしたと報道してましたが、それくらい影響がある人物だったんですね。ご冥福をお祈りします。

コロナ感染も 7 波と言われています。柏管内も感染者が多くなっていますので、ホテル側の事情で変更もありますが、しばらくはスクール形式の例会にしていきます。

さて、私の今年度活動方針の一つに50周年記念事業の準備委員会を立ち上げるとありますが、この件を第2回の理事会3号議案として協議しました。結果、今年度の理事全員が委員会のメンバーになり、委員長には50代会長に内定している助川さん、副委員長に同じく幹事内定の竹澤さんに決定しましたことをお知らせします。

また、本日は一回目のクラブ協議会があります。感染の状況次第ではありますが、各委員会の活発な活動計画を期待します。

幹事報告 幹事 寺田 康雄

1. 第11グループ会長幹事会のお知らせ日時；

7月19日（火）15：00~17：30

2. クラブ米山記念奨学会委員長セミナーのお知らせ
日時；8月27日（土）13：00～15：00
場所；三井ガーデンホテル千葉
登録料；3,000円

3. 地区ロータリー研修委員会より
『クラブ現状分析から元気なクラブづくりへ』の
手段としてのアンケート回答の依頼

吉田 朋令会員；地区奉仕プロジェクト統括委員会
統括副委員長へ委嘱状



ニコニコ発表

- ニコニコ(^_^): 森市 直樹会員(増上寺にて献花してきました。)
大沼 隆会員(少し涼しい日が続いています。)
中塚 雅人会員(水野年度会報完成しました。協力していただいた皆様に感謝です)

第1回 クラブ協議会

クラブ管理運営兼戦略計画委員会 ゲイビ・アデル委員長



クラブ管理運営兼戦略計画委員会の委員長 ゲイビ・アデルです。

クラブ管理運営委員長としては、小倉ガバナーの第2スローガン「ロータリーを楽しみながら、地域で、そして世界で良いことをしよう」にあるように、会員向けの研修、親睦行事の充実、会員の家族や友人との親睦を大事にしていきたいと思っています。

戦略計画委員会としては、委員会を年2回以上は開催し、今まで立てた目標の推進並びに見直しを進めます。まずは、私自身がクラブの戦略計画を勉強していきます。そして、50周年を多くの会員とご家族の方とお祝い出来るようにしたいです。

プログラム委員会の委員長は、金本会員、副委員長は宇田川会員です。

例会は、会員がロータリーを体験する主な場です。創意工夫を凝らし、会員が出席したいと思うような例会プログラムを企画していきます。

中でも「公開例会の開催」を年2回開催しロータリーの意義ある活動を多くの人に知ってもらい、会員拡大につなげたいと、早速、8月19日に公開例会を開催します。

詳しい内容はクラブ活動計画書に記載のとおりです。

親睦活動委員会の委員長は嶋田 英明会員、副委員長は、森市会員(行事担当)・安田会員(宴会担当)・花島会員(ゴルフ担当)の3名です。

コロナが終息しない中での親睦活動ですが、1年間という限られた中で全体行事を確実にこなし、親睦委員行事を2ヶ月に1度企画して実行していきたいと思えます。なるべく沢山の会員と家族が参加できる機会を増やします。

嶋田委員長の畑での収穫なども入った行事予定、詳しい内容は、クラブ活動計画書記載のとおりです。

出席委員会は委員長 日暮 肇会員、副委員長 浅野 肇会員です。

ロータリークラブの基本は、例会への出席から始まります。本会活動が円滑に遂行されるよう、出席率の向上をはかるため、努力します。

具体的には、クラブ活動計画書のとおりです。

研修委員会は委員長 水野 晋治会員、副委員長は櫛田会員です。

入会年度の浅い会員向けや全会員を対象とした研修会開催、その他様々な機会を活用しロータリーの魅力を再認識にしてもらえよう努力します。

具体的な活動計画は、クラブ活動計画書記載の通りです。

以上が、クラブ管理運営兼戦略計画委員会の今年度の活動計画です。

奉仕プロジェクト委員会 助川 昌弘委員長



本年度、奉仕プロジェクト委員長を務めます、助川です。一年間よろしくお願い致します。奉仕プロジェクト委員会の各小委員会は、職業奉仕委員会・委員長は水留茂之会員、副委員長は宇田川博司会員、社会奉仕委員会・委員長は勝田健一会員、副委員長は安田勝紀会員、秋元慶一会員、青少年奉仕委員会・委員長は櫛田仁一会員、副委員長は齋藤敏文会員、大沼隆会員、国際奉仕委員会・委員長は森市直樹会員、副委員長は前田徹会員となっております。

今年度の委員会の方針は、4つの小委員会が協力し、奉仕活動を通じてメンバー同士が互いに連絡できる奉仕プロジェクトの実現を出来るよう努めていきます。

昨年より続く、タイでの医療支援プロジェクト、また、サケたまプロジェクトでは、関係各所と連携を図り、事業実施を進めて参ります。続いて、各小委員会の方針です。

職業奉仕委員会

会員企業が良き企業として、良い仕事をし、地域社会に継続して貢献する企業となる。その為の行動指針は4つのテストが重要であると考えます。今年度の職業奉仕委員会の活動方針は、クラブでの活動や職業を通じて充実した職業奉仕を実現できるよう、前年度出来なかった活動なども引継ぎ、コロナ禍の状況も考慮し可能な範囲の中で活動します。

- 活動計画
1. 会員同士が互いの職業について学び合い、協力関係を築く
 2. 会員と家族が参加できる職場見学の実施
 3. 地域社会での奉仕プロジェクトで職業スキルを活かす活動
 4. 他の委員会と連携をとり奉仕活動に努める

社会奉仕委員会

地域に根差した奉仕活動を実践することにより社会に変化をもたらし、それが世界を変える一歩になる。今年度、社会奉仕委員会は昨年度の事業を継承しつつ、社会奉仕活動を通してより楽しいロータリーを目指します。会員皆様の積極的な参加をお願いします。

- 活動計画
1. 社会福祉事業の支援
 2. 老人ホームへの慰問
 3. 幼稚園への訪問

青少年奉仕委員会

青少年奉仕活動は、コロナ禍によりその活動を制限されていますが、本来「若い人々に将来への準備をさせることは、各ロータリアンの責務である。」と説かれているように、クラブは、新世代の基本的ニーズ（健康・人間の価値・教育・自己開発）を支援するプロジェクトを立ち上げるよう奨励されています。青少年奉仕委員会は、青少年の好ましい変化に質すプロジェクトの企画・運営を図ると共に青少年育成プログラムを実施します。

- 活動計画
1. 地区内での青少年プログラムに対する理解・協力
 2. インターアクト・ロータリーアクト・青少年交換への候補生の発掘とその研修
 3. RYLA (Rotary Youth Leadership Award) 若い参加者を集いアイデアと参加
 4. サケたまプロジェクトの継続事業化と、今後に向けた調査・研究
 5. その他、市内小・中学生に向けた新規事業の企画・立案

国際奉仕（姉妹クラブ）委員会

以前、水野パスト会長は、奉仕の停滞は何も生み出さないばかりか、クラブを衰退させることにつながってゆく、奉仕活動に積極的に取り組んでいるクラブは会員数も増え、活き活きとしたクラブになると思う。そう述べております。

今年度、国際奉仕委員会は、書物、インターネットを通じて、他国の人々を助けることを目的としたクラブの活動やプロジェクトに協力することで、他国の人々とその文化、風習、問題に対する認識を培い、国際理解、親善、平和を推進するために、会員が行う活動を支援していきます。

活動計画

1. 台中港東南風扶輪社 訪問 姉妹クラブ締結 42 周年
2. ウクライナ支援活動
3. グローバル補助金の推進 タイ医療支援
4. 奉仕プロジェクト委員会の支援

以上、各委員会の活動計画を発表しました。今年度も会員皆様方のご支援とご協力を得ながら頑張っておりますので、一年間どうぞよろしくお願い致します。

会員増強委員会 湯浅 千晶委員長（代読 寺田 康雄幹事）



新しい方が入って、新しい風を呼び込み、更に素敵なクラブとなるよう、皆様のご協力によりまして、新しい方をご紹介します様お願い申し上げます。

新会員が入って良かった、楽しいと思える活動をして行きたいと思えます。推薦していただいた会員にもその後のフォローをお願いいただき、退会の防止に努めたいと思えます。

公共イメージ委員会 竹澤 雅彦委員長

前年度に引続き公共イメージ委員会を担当させていただきます、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

当委員会は引続き内外への情報発信を、様々な媒体を通じて行わせて頂きます。概ね前年度と同等の対応を予定しており、会報の制作及び配信と蓄積、例会の中継と録画及び録画映像の Youtube 配信、対外向け及び会員専用の LINE 公式アカウントでの情報発信の 3 分野を引続き推進してまいります。

特に対外向け LINE 公式アカウントは、前年度に多くの外部の方々にご登録頂きました。お手元のスマートフォンに直接当クラブの情報が届くプッシュ型メディアのため、今後重要な情報発信のツールと位置付け、更なる活用を進めてまいります。



また前年度後半より、ガバナー月信がデータ配信化されましたが、当クラブの会報も今年度からデータ配信化に移行させていただきます。メールアドレスをお申し出頂いている会員の皆さまにはメールで、また会員専用LINE公式アカウントをご登録頂いている方にはLINEアプリから、それぞれ簡単にご覧頂けるように改善させていただきます。

特に会員専用LINE公式アカウントは、会員数を大幅に下回るご登録数である事から、まだ未登録の会員の方も少なからずいらっしゃるかと存じます。あらためてご登録をお願い申し上げます。

尚、メールやLINEのご利用が困難な方におかれましては、個別にお申し出頂けましたら事務局で対応いたしますので、お気軽にお申し出下さいませ。

本年度も皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

ロータリー財団委員会 増谷 信一委員長（代読 住田 みゆき会員）



ロータリーの目的は、「超我の奉仕」です、と同じくロータリー日本財団の定款には「ロータリーの奉仕の理念に基づき、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解・親善・平和を達成できるようにすることを目的とする」とあります。

前年水野年度にて地区ロータリー財団の一人当たりの寄付額が82クラブ中1位を獲得致しました。本年、塚本年度においても是非2連覇が取れる様に、会員の皆様ご寄付を宜しくお願い致します。

【基金委員会】 委員長 飯合幸夫 副委員長 住田みゆき

ロータリー活動の基本となる基金小委員会はロータリー財団委員会及びポリオプラス小委員会の協力のもと、会員一人当たりの寄付目標を180ドルに設定して全会員に周知し、それに伴い「Every Rotarian, Every Year」クラブを達成できるよう努力をします。

【ポリオプラス委員会】委員長 川和弘行 副委員長 上田かおり

ポリオウィルスは人から人へ幹線しますが、ワクチンで予防が可能です。根絶活動を今ストップした場合、10年後には年20万人もの子供がポリオによる麻痺に侵される可能性があります。会員の皆様には趣旨を理解し、寄付をよろしくお願いたします。

以上が、ロータリー財団委員会からの上期活動計画です。

ロータリー米山記念奨学会 鈴木 桂三委員長



こんにちは、米山記念奨学会を担当させていただきます鈴木です。当委員会のメンバーは後期高齢者3名と長期欠席者2名の構成になっておりまして非常に機動力に乏しいことが最大の弱点にです。

カウンセラーは前年度に引き続き松本ユミさんをお願いしております。どうかよろしく願いいたします。米山奨学会への寄付金には普通寄付金と特別寄付金の2種類があります。普通寄付金は各クラブが決めた金額×会員数、当クラブでは上期下期各2000円の4000円×会員数分になります。この寄付は奨学金事業という観点から安定財源として必要なものです。個人の寄付実績には含まれません。

2019-20年度の各クラブの平均実績は4988円でした。そして特別寄付金は、個人・法人・クラブなどからの任意の寄付金です。この寄付額が個人の寄付実績になります。2019-20年度の各クラブの平均実績は10267円でした。当地区では寄付推奨額一人当たり15000円ですので特別寄付金の目標額は会員一人当たり11000円になります。

米山奨学金は海外から優秀な学生を招きロータリーの目指す世界理解、世界親善、世界平和の推進と共通するもので非常に有意義な事業であります。集められた寄付金は、ほとんどが奨学金とその他奨学生学友関係費・地区世話クラブへの補助金等々に使われます。奨学金事業費の割合が97%管理費3%となっております。

出席報告

会員数56名 欠席者11名 出席率80.00%

例会動画リンク

第2199回 通常例会

<https://youtu.be/useuyHQCfKQ>

